

1. 建物概要

建物名称	(仮称)安全自動車株式会社 沼津工場建替計画	BEE	1	BEEランク	B-	★★
------	------------------------	-----	---	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.1	/5	 ふつつ 
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.9	/5	 がんばろう 
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.9	/5	 がんばろう 
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	 がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上  ふつつ 3 点以上  がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目												
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点					3.1							
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①ダブルスキンの採用による開口部の温熱環境の向上。 ②ライトシェルフの採用。	Q-1	2	2.1	2.1, 2	①	外皮性能	Q-1	3	3.1	3.1, 3	②	昼光利用設備	
						③	昼光制御			3.2	3.2, 1	④	躯体材料の耐用年数	
		Q-2	2	2.2	2.2, 1	⑤	躯体材料の耐用年数			2.2, 2	⑥	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
						⑦	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.2, 3	⑧	空調換気ダクトの更新必要間隔		
						⑨	空調・給排水配管の更新必要間隔			2.2, 4	⑩	主要設備機器の更新必要間隔		
						⑪	生物環境の保全と創出	Q-3	1		⑫	敷地内温熱環境の向上		
						⑬	敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。			3	3.2	⑭	敷地内温熱環境の向上	
						⑮	緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。							
		■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦ダブルスキンによる高断熱化。 ⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制					⑧	自然エネルギー利用
							⑨	設備システムの高効率化			2		⑩	モニタリング
						⑪	運用管理体制			3	4.1	⑫	運用管理体制	
						⑬	運用管理体制			4	4.2	⑭	運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。	LR-2	1	1.1		⑪	節水			1.2	1.2, 1	⑫	雨水利用システム導入の有無	
						⑬	雑排水等利用システム導入の有無			2	1.2, 2	⑭	雑排水等利用システム導入の有無	
						⑮	材料使用量の削減			2	2.1	⑮	材料使用量の削減	
						⑯	既存建築躯体等の継続使用				2.2	⑯	既存建築躯体等の継続使用	
						⑰	躯体材料におけるリサイクル材の使用				2.3	⑰	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
						⑱	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				2.4	⑱	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
						⑲	持続可能な森林から産出された木材				2.5	⑲	持続可能な森林から産出された木材	
						⑳	部材の再利用可能性向上への取組				2.6	⑳	部材の再利用可能性向上への取組	
						㉑	有害物質を含まない材料の使用			3	3.1	㉑	有害物質を含まない材料の使用	
						㉒	消火剤				3.2	3.2, 1	㉒	消火剤
						㉓	断熱材				3.2, 2	㉓	断熱材	
						㉔	冷媒				3.2, 3	㉔	冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策と、高炉セメントの採用。 ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮			2	2.2	⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点					2.9							
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯制振装置の採用。	Q-2	2	2.1	2.1, 1	⑯	耐震性					⑰	免震・制振性能	
						⑱	空調・換気設備					⑱	空調・換気設備	
						㉑	給排水・衛生設備			2.4	2.1, 1	㉑	給排水・衛生設備	
						㉒	電気設備				2.4, 2	㉒	電気設備	
						㉓	機械・配管支持方法				2.4, 3	㉓	機械・配管支持方法	
						㉔	通信・情報設備				2.4, 4	㉔	通信・情報設備	
						㉕	通信・情報設備				2.4, 5	㉕	通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点					2.9							
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。	Q-2	1	1.1	1.1, 3	⑯	ユニバーサルデザイン計画	Q-2	3	3.1	3.1, 1	⑰	階高のゆとり	
						⑱	空間の形状・自由さ				3.1, 2	⑱	空間の形状・自由さ	
						㉑	地域性への配慮、快適性の向上	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
	■室外環境(敷地内)対策 (②地域性・アメニティへの配慮) ②街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。													
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点					2.5							
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑦敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	Q-3	2			⑥	まちなみ・景観への配慮	
						⑦	敷地内温熱環境の向上			2		⑦	敷地内温熱環境の向上	
						⑧	敷地内温熱環境の向上			3	3.2	⑧	敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑬温熱環境悪化の改善) ⑫静岡県産材の使用比率が〇%。 ⑬外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	LR-2	2	2.5		⑬	温熱環境悪化の改善	
		LR-3	2	2.2		⑬	温熱環境悪化の改善							